

2023年2月 新型コロナウイルスに関する生活者調査

2月の「生活自由度」は63.4点で、前月並みの高い水準に。 「不安」や「行動の抑制」も前月と同程度

株式会社博報堂(本社-東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は2023年2月、新型コロナウイルスが流行している昨今の生活者意識や行動について「新型コロナウイルスに関する生活者調査」を実施しました(調査期間は2月2~6日、対象は首都圏・名古屋圏・阪神圏の20~69歳の男女1,500名。調査概要は4ページ参照)。

【調査前の状況】新型コロナウイルスの全国の新規感染者数は、1月初旬には1週間平均で1日あたり18万人台まで増加した後減少に転じ、1月21日には10万人を、2月1日には5万人を切るころまで減少しました。一方死者数は、1月中旬までは1週間平均で1日あたり400人台が続くなど高止まりしていましたが、こちらもその後減少し、2月2日時点では300人を切りました。政府から、感染症法上の位置づけを5月から季節性インフルエンザ並みに緩和することが決定(1月27日)された中での調査です。

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

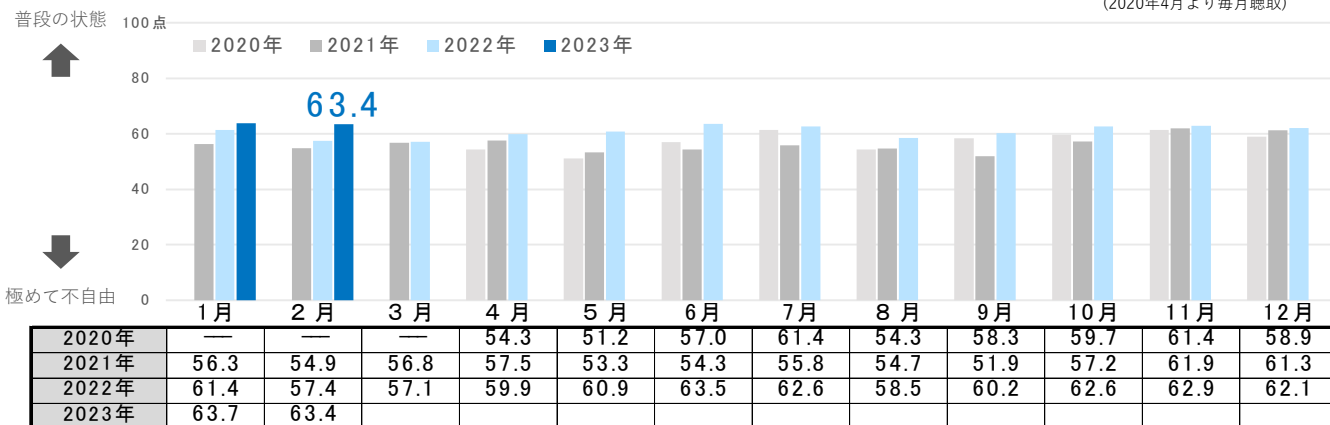
2023年2月は、63.4点

前月差
-0.3pt

前年同月差
+6.0pt

暮らしの自由度について感染拡大以前の普段の状態を100点とすると、現在は何点くらいかを聞いたところ、2023年2月は、前月(過去最高値の63.7点)から0.3pt減少して63.4点となりました。なお前年同月との比較では、6.0ptの増加となっています。

(2020年4月より毎月聴取)



※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

新型コロナウイルス影響下での意識・行動

【不安度】は前月と比べ大きな変化はなく、「行政の対応」(72.3%、3.6pt増)が増加、「海外の情勢」(69.4%、2.8pt減)が減少で目立つ程度です。【行動の抑制度】も前月から大きな増減はなく、「不要不急の買い物」(46.9%、3.4pt減)、「不要不急の外出」(50.6%、3.2pt減)が減少で目立つ程度です。【行動の実施度】でも前月に比べ大きな増減はありません。増加で目立つ項目はなく、減少では「キャッシュレスでの支払い」(60.8%、3.2pt減)、「テレワーク(※有職者ベース)」(24.7%、3.0pt減)が目立つ程度となっています。

		回答率 「あてはまる」「ややあてはまる」の計	前月差	前年同月差
【不安度】 感じている不安	行政の対応	72.3%	+ 3.6pt	+ 2.1pt
	海外の情勢	69.4%	- 2.8pt	+ 3.5pt
	自分や家族の健康	62.1%	- 1.4pt	- 5.2pt
【行動の抑制度】 控えている行動	不要不急の買い物	46.9%	- 3.4pt	- 22.9pt
	不要不急の外出	50.6%	- 3.2pt	- 29.0pt
	体験型エンタメ(ライブ・観劇・映画鑑賞など)	50.1%	- 2.0pt	- 24.2pt
【行動の実施度】 行っている行動	キャッシュレスでの支払い	60.8%	- 3.2pt	- 5.5pt
	テレワーク※有職者ベース	24.7%	- 3.0pt	- 6.8pt
	インターネット通販や出前の利用	32.8%	- 2.8pt	- 12.5pt

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

2月の「生活自由度」は63.4点で、前月並みの高い水準。

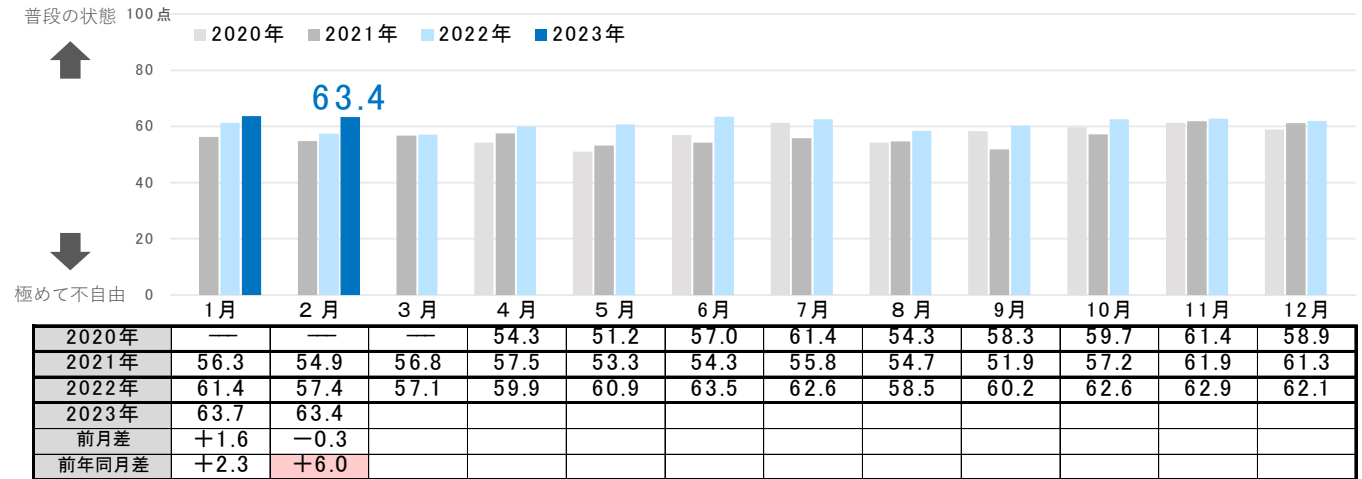
コロナ感染者数は、1月初旬には1週間平均で1日あたり18万人台まで増加していましたが、その後減少に転じ、1月21日には10万人を、2月1日には5万人を切るまで減少しました。死者数も、1月中旬までは1週間平均で1日あたり400人台が続くなど高止まりしていましたが、こちらもその後減少し、2月2日時点で300人を切りました。その中で生活自由度は、過去最高値だった前月並み(0.3ptの微減)を維持しました。

回答理由からは、「完全に自由とまではいえないが、行動面では元に戻っている」。「行動緩和に伴う新たな不安」も。生活自由度「高」:「マスクや消毒は当たり前で気にならないし」、「コロナの流行も収まりつつある」との認識、「自粛を緩めている」との声もあります。コロナ禍で「人間関係の自由度はむしろ高まった」との意見や、外出や出費は以前より抑制的だが「生活満足は高い」との声もみられます。生活自由度「中」:「以前より行動も緩和されてきた」ものの、「まだマスクが必要」「人の目もある」「試食や旅行はできない」など、不自由さが残るとの声があります。「全く自由ともいえないが、不自由ともいえない」と表す人も。行動緩和や衛生面で、社会の緩みへの不安をあげる声も見られました。

生活自由度「低」:「周囲で感染があったので、まだ行動は自粛している」との声があります。テレワークから出社に移行する不安や、マスクを外そうとの動きなど、行動緩和の局面に不安を感じる声もあります。コロナ禍で仕事や家族関係など生活に大きな影響があった方の声もよせられました。

■ 生活自由度

(単位: 点 / 差分: pt)



※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

■ 生活自由度の理由(一部抜粋)

生活自由度	理由	点	属性
高 (61点以上)	外出時のマスクやアルコール消毒をすることは当たり前になっていて気にならないし、それ以外は以前と変わらないから。	100点	24歳女性・愛知県
	コロナ流行もそろそろ収まりつつあるし、流行中もそれほど不自由でもなかったぐらいなので、今は流行以前と変わりがないため。	100点	60歳男性・大阪府
	本当に自分の人生にこの人達とのつきあいが必要なのか? コロナ、パンデミック流行以前の人間関係を断捨離することができて、必要な人間関係だけが残り、今は最高に自由だから。	100点	33歳男性・埼玉県
	コロナを日常的にとらえることができてきたので、自分の中での自粛を緩めているから。	90点	56歳女性・東京都
中 (41~60点)	外出頻度は少なくなったが、将来のお金の不安なども考えると、以前のようにたくさん外出したり出費したりしなくても、現状は満足できているので、不自由さはあまり感じていない。ただコロナに感染すると隔離されるなどが大変なので、80点にしました。	80点	28歳男性・兵庫県
	まだまだ、ノーマスクまでにはいかず、自分も含めまだ不安な状態であるため。人の目も気になるから。	60点	42歳男性・埼玉県
	食品を買うときに、試食ができなくなり、買うきっかけができなくなっているから。まだまだ旅行が安心してできないから。	60点	60歳女性・東京都
	医療関係のためコロナ前と同様の動きはできないが、当初の自粛よりは緩和されたと感じるため。	50点	29歳女性・東京都
	感染拡大時もそんなに不自由は感じなかったし、人も少なく、飲食店も消毒などに気をつけていた。今のほうが出勤する人、外出する人、インパウンドも増えている。飲食店では仕切るパネルもないし、人材不足なのか、以前ほど消毒など衛生面も適当になってきた。デパートの入口の体温センサー、アルコール消毒もカタチだけのものになっている。自分自身は潔癖症ではないが、「汚れ」がひどくなったように思う。	50点	55歳女性・大阪府
全く不自由は感じないともいえないし、不自由であるともいえない。中途半端な状態。	50点	55歳男性・愛知県	
低 (40点以下)	職場でのコロナ感染、知人の感染も多くあり、出かけたり、人と接する機会は減っている。	40点	49歳男性・岐阜県
	感染拡大時は完全テレワークだったが、現在は出社もしないといけない。コロナ感染以外にも風邪やインフルエンザが怖いので、テレワークを継続できるよう働き方を選びたい。	30点	37歳女性・大阪府
	マスクを外そうという動きがあるが、まだ職場や学校などで人と至近距離になる可能性がある場では外したくないし、コロナ以前のようにマスクなしの生活に戻るのには、抵抗がある。	30点	49歳女性・埼玉県
	混雑を常に避け、特に咳をしている人が近くにいたら離れようと考えている。	5点	28歳男性・大阪府
	コロナ禍で自営業だった夫の仕事が激減し、持ちこたえられず昨年廃業になった。国の助成金等でもどうにもならなかった。当然生活は困難になり、結果夫自体の体調も悪くなり、今年離婚せざるをえない状況になり、生活も一変してしまった。	0点	59歳女性・東京都

新型コロナウイルス影響下での意識・行動[実態]と収束後の行動[予想]

【不安度】は前月と比べて大きな増減はみられない

前月比較では、「行政の対応」(72.3%、3.6pt増)、「海外の情勢」(69.4%、2.8pt減)が減少で目立つ程度です。

前年同月比較では、「人づきあいの変化」(38.0%、5.7pt減)、「自分や家族の健康」(62.1%、5.2pt減)などの減少が目立ちます。

【行動の抑制度】も前月と比べて大きな変化はみられない

[注:「海外の情勢」の増減には、ロシアのウクライナ侵攻、中国での感染状況の影響が考えられます]

前月比較では「不要不急の買い物」(46.9%、3.4pt減)、「不要不急の外出」(50.6%、3.2pt減)が減少で目立つ程度です。

前年同月比較では、「不要不急の外出」(50.6%、29.0pt減)、「交友・交際」(51.1%、27.4pt減)のほか、ほとんどの項目で約20pt以上減少しています。

【行動の実施度】も前月と比べて大きな変化はみられない

前月比較では、「キャッシュレスでの支払い」(60.8%、3.2pt減)、「テレワーク(※有職者ベース)」(24.7%、3.0pt減)が減少で目立つ程度です。

前年同月比較では、「家のできる娯楽」(50.2%、19.1pt減)、「混む時間を避けたり、来店頻度を減らした買い物」(47.0%、14.9pt減)などが減少。

収束後に取り組むと思う行動[予想]…[実態]より[予想]が高いのは、「投資や資産運用」(+10.0pt)、「SNSの閲覧・投稿」(+8.9pt)などです。

■ 生活意識・行動 【不安度】

	[実態] 感じている不安				
	22年12月	23年1月	23年2月	前月差	前年同月差
経済の停滞	74.9	74.2	74.5	+0.3	-1.6
行政の対応	69.0	68.7	72.3	+3.6	+2.1
海外の情勢	67.9	72.2	69.4	-2.8	+3.5
自分や家族の健康	60.9	63.5	62.1	-1.4	-5.2
自分や家族の仕事・収入	59.2	58.0	58.9	+0.9	+0.9
情報の不足や不確かさ	57.7	58.5	57.5	-1.0	-2.4
人づきあいの変化	39.3	37.1	38.0	+0.9	-5.7

(単位: % / 差分: pt)

【行動の抑制度】

	[実態] 控えている行動					[予想] 収束後に控えると思う行動					予想と実態の差 (最新月)
	22年12月	23年1月	23年2月	前月差	前年同月差	22年12月	23年1月	23年2月	前月差	前年同月差	
人とのボディタッチ(握手やハグなど)	60.9	61.5	61.5	±0.0	-19.0	54.5	55.7	55.1	-0.6	-6.3	-6.4
旅行・レジャー	55.6	56.5	56.3	-0.2	-25.7	42.6	43.6	41.9	-1.7	-5.2	-14.4
交友・交際	54.3	51.8	51.1	-0.7	-27.4	44.9	46.6	43.3	-3.3	-7.8	-7.8
不要不急の外出	54.3	53.8	50.6	-3.2	-29.0	49.3	50.9	46.7	-4.2	-8.7	-3.9
体験型エンタメ(ライブ・観劇・映画鑑賞など)	50.9	52.1	50.1	-2.0	-24.2	43.4	44.3	41.7	-2.6	-6.4	-8.4
外食	49.7	49.2	49.6	+0.4	-23.8	43.0	41.7	41.0	-0.7	-7.5	-8.6
不要不急の買い物	49.2	50.3	46.9	-3.4	-22.9	45.8	47.7	44.3	-3.4	-8.8	-2.6

【行動の実施度】

	[実態] 取り組んでいる行動					[予想] 収束後に取り組むと思う行動					予想と実態の差 (最新月)
	22年12月	23年1月	23年2月	前月差	前年同月差	22年12月	23年1月	23年2月	前月差	前年同月差	
感染対策の徹底(マスク着用や手洗いなど)	85.1	87.7	85.3	-2.4	-6.5	76.8	78.6	78.6	±0.0	-1.5	-6.7
十分な運動・栄養・睡眠	73.1	74.5	74.3	-0.2	-2.3	78.3	80.3	79.7	-0.6	-4.6	+5.4
感染対策商品や日用品の備蓄	62.3	63.8	63.5	-0.3	-5.3	63.3	64.3	63.0	-1.3	-4.7	-0.5
キャッシュレスでの支払い	60.1	64.0	60.8	-3.2	-5.5	63.3	67.0	63.7	-3.3	-6.0	+2.9
自分で料理する	52.1	50.9	51.1	+0.2	-6.1	59.1	60.1	58.2	-1.9	-6.2	+7.1
家のできる娯楽	53.1	51.4	50.2	-1.2	-19.1	50.7	50.2	48.6	-1.6	-7.3	-1.6
感染対策を徹底している店や施設の利用	53.4	47.8	47.5	-0.3	-12.2	51.9	51.8	48.9	-2.9	-7.8	+1.4
混む時間を避けたり、来店頻度を減らした買い物	49.9	47.7	47.0	-0.7	-14.9	47.7	50.7	47.8	-2.9	-8.8	+0.8
ストリーミングサービスの利用(動画や音楽など)	44.7	46.0	44.9	-1.1	-2.0	48.4	49.6	47.3	-2.3	-1.3	+2.4
スマホやパソコンなどでのゲーム	41.7	42.0	41.8	-0.2	-4.7	43.3	43.6	43.4	-0.2	-1.4	+1.6
自家用車での移動	41.2	42.7	40.1	-2.6	-11.0	41.5	40.5	39.6	-0.9	-7.7	-0.5
SNSの閲覧・投稿	40.0	40.9	39.2	-1.7	-2.3	48.1	50.9	48.1	-2.8	-1.1	+8.9
人が密集しない屋外でのレジャー	39.7	39.9	38.4	-1.5	-5.1	46.1	46.5	45.3	-1.2	-6.9	+6.9
家のできる運動	39.1	38.1	37.1	-1.0	-8.6	46.3	46.9	43.2	-3.7	-8.4	+6.1
人が密集しない屋外での運動	37.5	38.4	35.9	-2.5	-3.6	42.4	41.3	40.3	-1.0	-8.1	+4.4
インターネット通販や出前の利用	35.0	35.6	32.8	-2.8	-12.5	39.5	39.4	36.9	-2.5	-5.9	+4.1
時差通勤・時差通学	28.8	30.0	30.1	+0.1	-9.0	34.0	34.8	34.1	-0.7	-5.5	+4.0
家の環境充実(通信環境整備や家電購入など)	30.1	29.8	28.5	-1.3	-3.4	36.2	39.0	36.0	-3.0	-4.7	+7.5
副業(検討含む)	28.0	27.2	27.9	+0.7	-0.8	31.7	31.7	31.4	-0.3	-1.5	+3.5
モノを手作りする(手芸、リフォーム、DIYなど)	24.9	23.4	24.9	+1.5	-1.4	31.3	30.0	30.5	+0.5	-2.2	+5.6
投資や資産運用	24.9	26.3	24.9	-1.4	-3.1	34.7	38.6	34.9	-3.7	-3.6	+10.0
テレワーク ※有職者ベース	25.2	27.7	24.7	-3.0	-6.8	28.4	31.8	27.5	-4.3	-4.7	+2.8
フリマアプリ・ネットオークションでの購入	22.7	23.7	24.2	+0.5	-1.3	29.0	29.5	28.2	-1.3	-1.8	+4.0
就職・転職・起業(検討含む)	23.9	23.5	23.7	+0.2	-1.2	24.3	26.9	25.8	-1.1	-1.3	+2.1
普段より少し良いものを買う	23.2	25.3	23.3	-2.0	-5.2	28.8	31.3	27.9	-3.4	-3.8	+4.6
フリマアプリ・ネットオークションでの出品・販売	23.7	22.3	22.9	+0.6	-1.5	26.1	26.7	27.5	+0.8	-1.5	+4.6
オンライン学習	17.1	16.4	16.0	-0.4	-1.5	22.1	23.6	22.9	-0.7	-1.6	+6.9
転居やリフォーム、複数拠点での生活(検討含む)	16.5	14.9	15.8	+0.9	-0.4	19.5	20.9	18.3	-2.6	-2.7	+2.5
お店・団体の支援	17.7	16.6	15.5	-1.1	-2.4	19.9	20.9	19.7	-1.2	-2.7	+4.2
オンラインでの飲み会・食事会	15.1	14.5	15.4	+0.9	-3.1	16.7	16.2	15.3	-0.9	-4.0	-0.1

■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

新型コロナウイルスに関する生活者調査 調査概要

質問項目(質問文)

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

新型コロナウイルス感染拡大以前の普段の状態を100点、感染拡大により極めて不自由を強いられる状態を0点とすると、あなたの現在の暮らしの自由度は何点くらいでしょうか。(0~100点の数値を回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

新型コロナウイルス影響下での意識・行動[実態] ※一部、有職者ベースを含む

新型コロナウイルスの流行に関連して、次のような意見があります。
それぞれについて、あなた自身のお気持ちや行動にもっとも近いものをひとつずつお答えください。
(単一回答：あてはまる/ややあてはまる/あまりあてはまらない/あてはまらない)

[※有職者]
2023年 2月 :1,081人
2023年 1月 :1,061人
2022年12月 :1,050人

新型コロナウイルス収束後の行動[予想] ※一部、有職者ベースを含む

今後、新型コロナウイルス感染への懸念がなくなったとしても、あなたは次に挙げるような行動をしたいと思いますか。
それぞれについて、あなたご自身の予想にもっとも近いものをひとつずつお答えください。
(単一回答：すると思う/時々すると思う/あまりしないと思う/しないと思う)

調査地域 ①首都40km圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県)
②名古屋40km圏(愛知県・三重県・岐阜県)
③阪神30km圏(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県)
調査対象者 20~69歳の男女
対象者割付 調査地域①~③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付
調査人数 合計1,500人 (単位：人)

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	131	143	180	172	127	753
女性	128	140	178	169	132	747
合計	259	283	358	341	259	1,500

調査方法 インターネット調査
調査時期 2023年2月2日(木)~6日(月)(2020年3月から調査開始/毎月上旬に調査実施)
企画分析 博報堂生活総合研究所
実施集計 株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

(参考)調査期間中の社会の主な動き ※感染者数の出典：関連ホームページ(厚生労働省、東京都とも2月9日時点)

<2020年>	<2021年>
4月 7都道府県で「緊急事態宣言」が発出(5/6まで) 緊急事態宣言を全国に拡大	8月 新規感染者が全国2万5千人超、東京で5千人超を記録 緊急事態宣言(19都道府県)、まん延防止等重点措置(8県)、9月末まで延長
5月 緊急事態宣言が解除(39県、後に大阪・兵庫・京都) 1都3県含む47都道府県すべてで解除	9月 新規感染者の減少 月初の2万人台が中旬には6千人規模に、下旬には千人を下回る日も 重症者の減少 初旬2千人超で過去最多を更新後、減少を続け月末には千人を下回る ワクチンの2回接種者が全人口の5割を超える
6月 東京で警戒情報「東京アラート」が発出	緊急事態宣言(19都道府県)、まん延防止等重点措置(8県)が全面解除(9/30)
9月 東京でGoToトラベルの予約開始	10月 新規感染者数が100人以下、東京では一桁になるなど減少傾向が続く
10月 GoToイートの予約開始	11月 大規模イベントの上制限撤廃 1都3県と大阪で飲食店への自粛要請の緩和
11月 GoToトラベルの一時停止を首相表明 東京や大阪含め10都道府県でGoToイート中断	12月 下旬まで感染者数は低位推移 下旬に大阪や東京でオミクロン株の市中感染
12月 GoToトラベルが一時中止(東京、後に全国)	<2022年>
<2021年>	1月 1日9万人超など全国感染者数が急増 自宅療養者、救急搬送困難事例も大きく増加 「まん延防止等重点措置」の適用自治体は拡大を続け、月末には34都道府県に
1月 緊急事態宣言が再発出(1都3県、後11都道府県に拡大)	2月 全国感染者数が1日10万人突破後、減少傾向に 北京冬季五輪・パラリンピック開幕 まん延防止等重点措置、5県では2/20をもって解除、18都道府県では3/21まで延長決定
2月 緊急事態宣言、3月7日まで延長が決定	3月 まん延防止等重点措置が18都道府県で解除(3/21)。全面解除は2か月半ぶり
3月 大阪・兵庫・京都で同宣言解除、3/21に1都3県解除	4月 全国の新規感染者数、初旬に拡大傾向をみせるも、その後は減少傾向へ
4月 まん延防止等重点措置の適用が順次拡大 緊急事態宣言、東京・大阪・兵庫・京都に、3度目の発出	5月 新規感染者は減少傾向 厚労省、マスク着用の考え方を発表(5/20)
5月 緊急事態宣言の継続、拡大、延長(愛知・福岡追加) 高齢者へのワクチン接種進む 大規模接種センター開設(東京・大阪)	6月 6/13の感染者数、東京都958人、全国6,005人 7/2には5日連続で全国2万人超
6月 緊急事態宣言、沖縄を除き解除 7都道府県はまん延防止等重点措置へ移行、3県は継続	7月 新規感染者数が全国で初めて20万人超、東京都で4万人超 「第7波」が猛威
7月 緊急事態宣言、東京(4度目)、首都圏3県・大阪に拡大 東京五輪開幕 北海道・石川・京都・兵庫・福岡にまん延防止等重点措置	8月 全国新規感染者数は20万人超の日が下旬まで多く見られた後、下旬になり減少傾向へ
	9月 全国新規感染者数の減少続く オミクロン株対応のワクチン接種開始
	10月 水際対策の大幅緩和 全国新規感染者数が増加基調(1週間平均で月上旬3万人→5万人/日)
	11月 全国新規感染者数の増加が続く
	12月 全国新規感染者数、1週間平均で1日あたり初旬の11万人が下旬には17万人台へ増加 [今回の調査時点までの詳細] 23年1月~ 全国新規感染者数は1週間平均で1月初旬に18万人台/日に増加した後、減少へ 1月21日には同10万人を、2月1日には同5万人を切る

<備考>

- ・本調査は当面実施し、毎月第3~4週頃に発表予定です(今後の状況変化により、調査内容などを変更する可能性があります)。
- ・過去のニュースリリース(2020年4月発表開始)は、以下のURLからご覧いただけます。

<https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/>

問い合わせ先 株式会社博報堂 広報室(山田・玉) 03-6441-6161 koho.mail@hakuhodo.co.jp